

第8回川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会 議事要旨

■日時：平成27年3月16日 15時00分～17時00分

■場所：市役所本庁舎 5階 大会議室

(1) 開催概要

(基本計画の検討について)

○会長より、審議会として方向性を示すべき論点について、本日議論頂き、次回の審議会で基本計画（素案）の確認、順調に進めば、パブリックコメントの手続きに進みたいとの趣旨が説明された。

○提示した基本計画（骨子案）の論点に対して、委員より様々な意見が提示された。

(参考資料2) 建物コンセプト：1階に車、2階以上に人でよいか？

- ・ 水害対策として2階以上に人の空間を確保する趣旨は理解できるが、2期棟の1階のほとんどを駐車場にする必要があるか検討すべき。
- ・ 2期棟の1階はエントランスのほか、例えば産業展示コーナーなど、一般居室ではない機能を配置することも考えられる。

(参考資料3) 1期棟に地下駐車場を造るかどうか？

- ・ 1期棟に必要となる駐車台数（100台程度）を確保するために、地下整備を検討すべき。
- ・ 地下駐車場の整備でコスト増となるため、2期棟の整備費用とあわせて、事業費の抑制を検討すべき。

(参考資料4) 2期棟の配置をどうするか？（北側広場か南側広場か）

- ・ 2期棟の事務局案と参考案について、いずれにもメリット、デメリットがある。審議会でこのいずれかに決定せず、設計に委ねてはどうか。
- ・ 2期棟の防災広場について、通常時にも屋外テラスのように利用するものであり、そうした使い方のイメージを基本計画に記載すべき

(参考資料6) 1期棟と2期棟をつなぐ連絡通路をどうするか？

- ・ 連絡通路は必要だが、その整備については、災害対応、利便性、景観（設置時の高さ）、セキュリティ等から評価、検討されるべき。

(参考資料7) ホバリングスペース、ヘリポートを造るかどうか？

- ・ 1期棟にホバリングスペースを設置すべき。

○上記の意見を踏まえ、次回審議会では、事務局で基本計画（案）を取りまとめ、提示することとなった。

(次回審議会の開催について)

○第9回審議会は5月25日（月）午後3時より、本庁舎5階大会議室で開催する。

(2) 開催内容

1. 開会

【事務局】第8回川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会を開催させて頂く。本日は、1名の委員がご欠席と伺っている。

【会長】本日が実質的に、基本計画検討の一回目の審議会である。審議会の検討期間を短縮し、新庁舎建設を早期に実現するため、本日は多くの論点について議論し、審議会としての方向性を示していきたい。

【事務局】本日の傍聴希望者は7名である。これより入室して頂く。

2 議事

(1) 敷地利用計画の考え方について

【会長】本日は半数以上の委員が出席しているため、この審議会の成立を報告する。本日は議題1、2とあるが、通して事務局より説明頂きたい。

(参考資料1～4及び模型の説明)

【事務局】資料ではわかりづらい点もあるため、庁舎の空間や配置のイメージを持って頂けるよう、事務局で庁舎配置例を示した模型を用意した。模型の前に集まって頂きたい。

(庁舎配置例の模型の前に集まり議論を実施)

【委員】2期棟の7階の部分と立体駐車場との間の空間は必要か。

【事務局】事務局案は、1階、2階、3階に窓口部門が配置され、その上に駐車場を積むという考え方である。こういった建物を耐火建築物といい、コンクリートや鉄骨を用い一体でつくる場合には、耐火被覆をしなければならない。執務棟と駐車場棟の間は、執務空間の採光のために空間を開けている。参考案は、本庁舎は耐火建築物だが、駐車場は独立であり大臣認定の簡易式立体駐車場となるためコストも安価、また建設期間も短縮可能である。

【委員】現在、立体駐車場が4階になっているが、日照の問題であれば南側の半分を5階、6階にして駐車台数を増やすことは可能か。

【事務局】現在の案は車路が2本通っており、駐車場として最も効率的な配置である。南

側のみ階を高く積んでも、効率的な駐車スペース、車路の配置とならない。

【委員】市民窓口は3階くらいまで配置されるのか。

【事務局】この配置例ではそのような空間配置を想定した。

【委員】事務局案について、車の動線はどうなるのか。

【事務局】車の動線はスロープで庁舎東側から上ることを想定した。駐車場の下を執務空間にするという考え方である。

【委員】連絡通路はもっと上空にできるのか。

【事務局】2階レベルの設置を想定している。

【委員】参考案では連絡通路が防災広場に直結するという事か。

【事務局】そのような想定である。連絡通路と防災広場は直結している。

【委員】災害発生時に、庁舎の中を通ることは可能か。また24時間、いつ災害が発生しても庁舎に避難可能か。

【事務局】庁舎は免震構造を想定しており、揺れに強い庁舎とする計画である。庁舎への避難については、セキュリティ等、今後の詳細設計の段階で詰める必要がある。

【委員】事務局案は、北側に広いスペースがある。しかし、道路に面して南側にはスペースがなく、圧迫感がある。南側に防災広場を作ったり、緑地空間を確保するほうが、全体的なデザインとしても相応しいというイメージを持った。

【委員】防災広場の広さはこれで十分か。また、緑化20%は確保されているのか。

【事務局】緑地20%は、外構部分で確保する想定である。仮に確保できていない場合でも、屋上緑化等の対応で20%の緑地率は確保できる見込みである。

【委員】北側の広場、防災広場について、駐車場棟と場所を入れ替えることはできないのか。日影の関係で難しいということか。

【事務局】庁舎と駐車場を建設するローテーションの問題で北側に防災広場を確保する案となっている。具体的には、駐車台数を確保しながら建替える必要があるため、既存立体駐車場を残しながら、現本庁舎を解体し、新庁舎を建設、その後、既存立体駐車場を解体する流れとなる。

【委員】事務局案について、防災広場の横のスペースはどう使うのか。

【事務局】駐車場や駐輪場になる。2階建てにして、一階部分を駐輪場にし、デッキ状の部分に防災広場を確保する考えである。

【委員】防災広場というのはどういう機能なのか。現実的に災害が起きた時に、どう使うのか。

【事務局】水害が発生した際に、市民の方が防災広場に一時的に避難することができる。

【委員】防災公園のようなイメージか。

【委員】公園くらい広ければよいが、そんなに広くなく感じる。

【委員】水害が発生した場合、車があったとしても立体駐車場もよい避難空間になるのではないか。

【委員】この防災広場は立体駐車場ではないと理解している。

【委員】防災広場も5mくらいの高さの位置にある。屋根付の広場とも考えられるのではないか。

【委員】市役所周辺は、雨が降るとすぐに20、30cmくらい水が溜まる。一時的に集まれる場所があることは良い。

【委員】20、30cm程度の浸水で市役所へ避難するだろうか。

【委員】市役所近隣の学童保育室が雨の時に避難できず消防車を呼んだこともある。そういう子供たちが一時的に避難できると良い。市役所の前は水が溜まりやすい。

【委員】 市民会館は特に水が溜まりやすいと聞く。

【事務局】 現在は雨水対策ができていない。建設する際には地下に貯水槽を作り、敷地内で一定量処理できるよう検討する。

【会長】 本審議会で事務局案、参考案のいずれかに決定する必要があるか。

【事務局】 ご意見をいただきたい。

【会長】 設計に向けた与条件として方針を決めると理解した。ただし、この2案について、設計提案にアイデアを求めるということも考えたほうが良い。なお、事務局案と参考案は同じ容積率か。

【事務局】 同じ容積率である。

【会長】 容積は同じで、広場の配置場所が異なると理解した。

【委員】 仮設建築物をもうけず、既存の駐車場を使いながら工事できるという点で、事務局案の方が良いと思う。

【委員】 工期は、事務局案の方が短い。

【委員】 広場はやはり南側に面する位置にあった方がよい。

【委員】 道路が広ければよいが、2車線で広くないので南側に広場が必要と考える。

【委員】 防災広場の活用イメージを明確にすべき。防災広場ではなく、本庁舎に避難すれば良いのではないか。

【事務局】 平常時は、一般的な広場空間としての活用をイメージしている。更にこの連絡通路を使い、1期棟と2期棟が行き来できる空間となる。

【会長】 一般の人も使えるということだ。この案が望ましいと審議会で合意形成すべきだろうか。

【委員】 24時間、水に対して安全な場所がすぐに確保できるのかということは、この地域の重要な課題である。建物はすぐに入れない可能性がある。道路から階段を使い2階部

分に上がれることに安心感がある。

【事務局】工期の面では事務局案が短い。ただし、参考案は事務局案より事業費がかからないと想定している。

【会長】コンペ等に任せたほうが良いと考える。

(模型の前での議論終了)

(参考資料4～7の説明)

【会長】これまでの説明が基本計画（素案）に反映されることになる。できればそれを次回審議会で決定し、パブリックコメントの手続きを進めていきたい。事務局として決めた点は5点ある。1点目は2階のレベルを人の活動空間として水害に備えるという考え方である。2点目は、1期棟で地下駐車場を建設するという点である。1期棟に40～50台の地下駐車場を確保すると8億円程度費用が増加する。3点目は、ただ今模型にて議論した広場を南側、北側のどちらに置くかということである。どちらかと言えば皆さんがよく見える所に防災広場を置くのが良いと思う。4点目は、1期棟と2期棟をつなぐ連絡通路である。整備費用に関わるため、設計時の提案にアイデアを求めるにしても、基本計画で方向性を示した方がよい。5点目はホバリングスペースについてである。今回で結論まで難しければ、次回も含め引き続き議論したい。まず、1階を車、2階を人という基本コンセプトについてご意見はあるか。

【委員】1期棟、2期棟の全てをピロティにするということであるが、水害被害の経験に基づけば、台風の時に水が出たというより、少し時間が経ってから水が来た。ピロティにするのはどのような事態を想定しているのか。200年に1度の荒川堤防が決壊したことを想定しているのか。それを想定してピロティにするというなら否定はしないが、費用面等を考えた時にもう一度検討する必要があると思う。ピロティ部分が5mだとすると階高そのものは6mとなるが、駐車場のためだけに6mも必要となるのか疑問である。階高が高くなると工事費も上昇する。1期棟は駐車場を作るためにピロティというのは理解できるが、2期棟についてピロティが必要なのかはピンと来ない。

【会長】1期棟はピロティ方式が妥当というご意見である。2期棟は、ピロティ形式とする必要があるか。2期棟も全てピロティ形式とするかは、設計時の提案に任せたほうが良いと思う。

【委員】2期棟に避難場所を確保するという案であったが、川口市の産業展示スペースや

コンビニ、喫茶室など市民が自由に使えるスペースを1階に配置する考えはどうか。恒久的にものを置くスペースでなければ、水害も問題ないように思う。フリースペースとして何かの展示にも活用できるのではないか。1期棟について、免震構造の場合、基礎の部分に駐車スペース、貯水槽など、防災的な用途を持たせるということも検討できる。車は水が出てきたら駄目だということも含めて、駐車場スペースやピロティの使い方をもっと膨らませられるのではないか。

【会長】資料4のP13のイメージ、資料5のP13をご覧いただきたい。基本計画の骨子になるので確認頂きたい。資料5に1期棟のイメージがある。1階部分が全て駐車場となり、かつ地下1階も駐車場となるイメージか。

【事務局】1期棟及び2期棟は共通して、1階を駐車場とすることを想定している。加えて、1期棟には、地下に駐車場を設けてはどうかというものである。

【会長】2期棟の1階空間は、非常時は水没するとしても、平常時の利用として全てを駐車場として使うだけでは無く、展示空間などとして使うことも含めたイメージ図に変更すると良いのではないか。基本計画のイメージはずっと残っていくことになる。これを注意深く確認し、次回の審議会では納得できる絵にしてほしい。

【委員】1期棟の考え方を決める際に、駐車場をどう決めるのかが影響してくる。参考資料5のローテーションが非常に重要である。1期棟の建設時、2期棟の建設時いずれも、既存駐車場を使う考えである。駐車場を確保しながら工事をするという点は、事務局案は工期を守るという点で良い考え方だと思っている。

【会長】参考資料5の事務局案が良いということか。

【委員】平面計画に大きく影響してくるが、駐車場を確保しながら1期棟と2期棟の工事を進めることが事務局案のポイントと理解している。建設中も既存立体駐車場を活用するという考え方はよくわかる。

【委員】1期棟に地下駐車場を建設する費用は約8億円との説明であった。予算上限が決められている中で、どこでその増加分を負担するのか。一方で、参考案は工期が延びるが、簡易式の立体駐車場となるため、費用が事務局案よりかからない。単純に本日の説明を解釈すると、1期棟で地下駐車場をつくるならば、2期棟は参考案でコストを下げた建設することも考えられるだろう。参考案は工期が延びるが、1期棟に全て機能が入るならば、2期棟はある程度時間に余裕をもって検討すべきと思う。ただし、その分、分散化の解消

は遅延することになる。

【委員】地下は一切利用しないのかと思っていたが、地下駐車場は活用可能性があると思う。あわせて、地下通路も検討してもらえないだろうか。日本橋上空に高速道路をかけたが、今では逆に、上空の高速道路を取っ払い、地下化が検討されている。結果として、より費用がかかるようになった。

【会長】ハザードマップによる被害想定を考慮すると、庁舎をつなぐ連絡通路が水没するのは災害対応に支障をきたす。また、歩道橋は見苦しいので、景観上の工夫も必要だ。お金の問題もあるので、連絡通路の是非について議論頂きたい。

【委員】2期棟は1階をピロティにする必要は必ずしもないと思う。防災広場の1階に、駐輪場は必要か。また、どちらかと言えば2期棟が本庁舎となるだろうから、景観的にも配慮してほしい。防災広場へのアクセスの仕方、オープンスペースという話があったが、きれいなものにしても、いつでもアクセスできるようにしておかないと意味がない。加えて、庁舎との間のセキュリティ対策は検討が必要だ。連絡通路については、例えば台風の中でも行き来する必要があるため、多少費用をかけても屋内渡り廊下方式にすべきと思う。屋根付歩道橋ではあまり意味がないように思う。また、2期棟の配置については、参考案の方が良いと思う。

【委員】障がい者の方からすれば、1階が駐車場となれば必ず、2階に上る必要が生じてしまう。エレベーターに乗らなければならないことを考えると、窓口の手続きは1階で利用が済むような工夫をお願いしたい。

【会長】2階へのアクセス容易性は、特に重視されるべきだ。

【委員】2階を市民が利用するスペースにするのであれば、エスカレーターを設置し、地下駐車場を確保し利用しやすいようにすべきだ。連絡通路について、屋内渡り廊下も建設することが可であれば、きちんとした物を整備すべきだろう。防災広場については、北側につくる事務局案の方がよいのではないか。

【委員】地下駐車場が可能なら、もっと大きなものを作ってもよいかと思う。

【委員】防災広場を庁舎と駐車場の間に設けることは可能か。庁舎の玄関は顔として立派にすべきだろう。

【副会長】防災広場について、防災という言葉が誤解を生んでいるが、庁舎の前にテラスが広がるイメージである。テラスから2階の市民窓口フロアに容易にアクセスができる。防災広場、囲われた空間ということではない。もっと広く取るべきとの意見もあったが、建ぺい率の関係から、この程度の広さが限界だろう。

【会長】既存立体駐車場を残すかは基本計画で決めて、広場の配置案は設計時の提案に委ねるべきだろう。

【委員】連絡通路について、桁高5メートルはかなり低いという印象を持った。川口駅前には概ね8メートルくらいの桁高差を確保しており、威圧感がない。連絡通路の桁高さを検討してほしい。

【委員】連絡通路は3階レベルで接続され、3階にオープンスペースが繋がっているイメージを持ったが、2階レベルだということか。

【会長】できること、できないこと、また、工期、事業費を精査していくことが今後も必要だろうが、設計時の提案に委ねるべき事項もあり、どこまで与条件となりうるか、議論が残る。ただし、階高まで基本計画で決める必要はないと思う。

【委員】連絡通路について、屋内渡り廊下方式の場合、雨風を完全にしのげるという意見があった。もし、この屋内渡り廊下がセキュリティ上の都合で24時間いつでも使えないのであれば、災害対応という観点からは課題が残る。加えて、屋内渡り廊下の場合、事件等、防犯上の心配もある。

【会長】練馬区の連絡通路は非常に質が高い。防犯も考慮されている。バブル期に建設された庁舎との説明も事務局よりあったが、事業費がネックになる。本日の議論の結果を受けて、事務局で詳細に検討頂き、引き続き次回の審議会でも議論したい。なお、ホバリングスペースを1期棟に設置することについて、異議はないか。

(一同 異議なし)

(2) その他

【事務局】第9回審議会は5月25日(月)午後3時より開催する。

以上